

そもそも150年前は、どんな様子だったの？

明治時代になり、**明治5年(1872年)に「学制」という学校の法律**ができました



小原田小ができたころの様子

明治8年1月16日に、「小原寺」を借りて学校ができました！

名前は「**安積郡小原田村公立小原田小学校**」！

気づいたかな？ まだ「小原田村」だったんだよ



小原田小ができたころの様子

小原田村が、郡山市になるのは、ずっと後
みんな、今年は郡山市制100周年なのを知っていますか？

小原田村が合ぺいしたから、郡山市になったんだ！



小原田小ができたころの様子



- **きっとみんなよろこんで学校に来たんだらうね！**
- **実は、学校に来たのは男子64人、女子5人、計69人**
- **学校に通うはずの子どもは男子93人、女子92人、計185人いたんだけど・・・**
- **半分以上の子どもが学校には来ていなかったんだ**

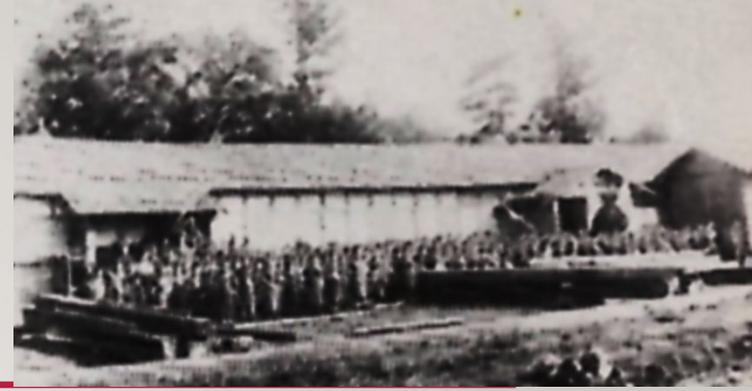
小原田小ができたころの様子



- 明治14年(1881年、創立7年目)に、初めて校舎ができた!
- 今の場所に、平屋(1階)で、木造(木の)校舎
- 体育館ない、校庭小さい
- 児童数は54人、3学級



小原田小ができたころの様子



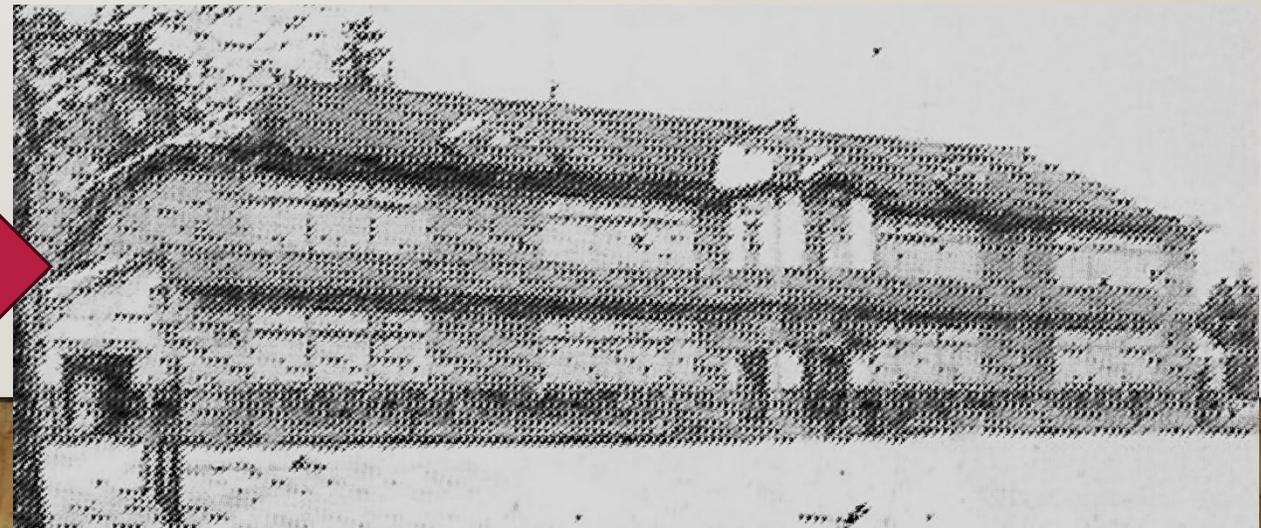
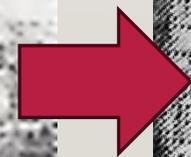
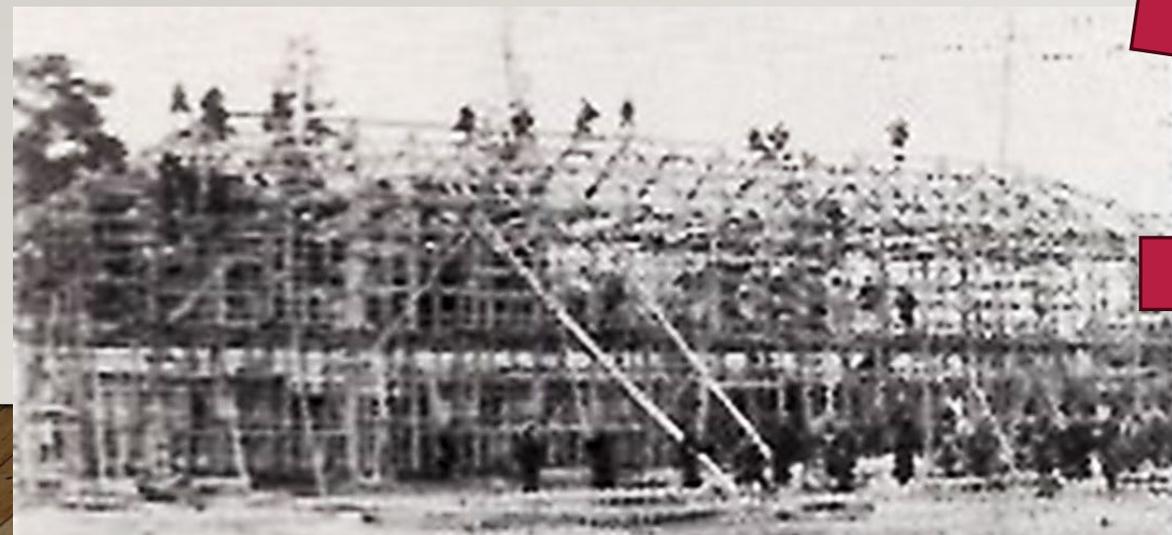
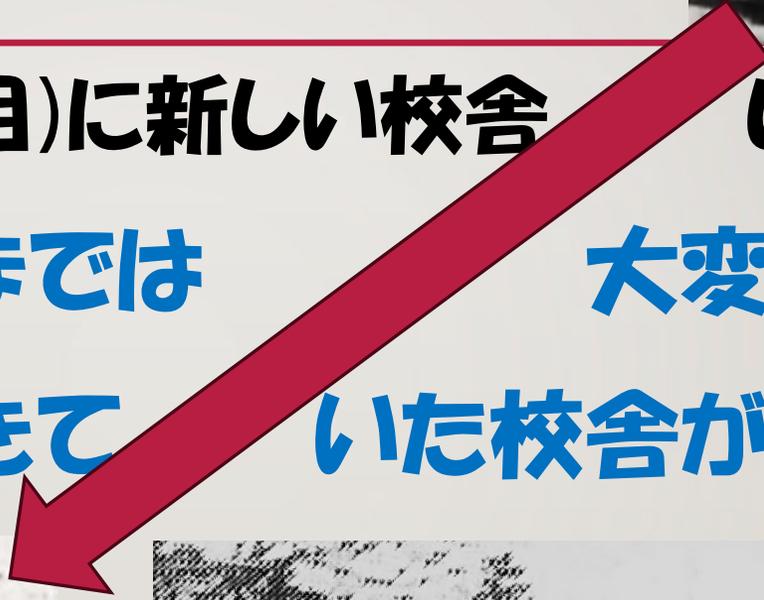
• どんな小学校教育だったんだろう？

- 服そう⇒着物、先生も洋服を着てるのは校長先生だけ
- 遊び⇒なわとび、コマまわし、へいたいごっこ、チャンバラ
- 勉強⇒ノートはなく、石板に石ぼうで書く
- 授業は午前8時から午後2時30分まで、女子は子守りしながら、家に帰る農作業の手伝い、昼は梅干し・みそ漬け・けずりこの弁当

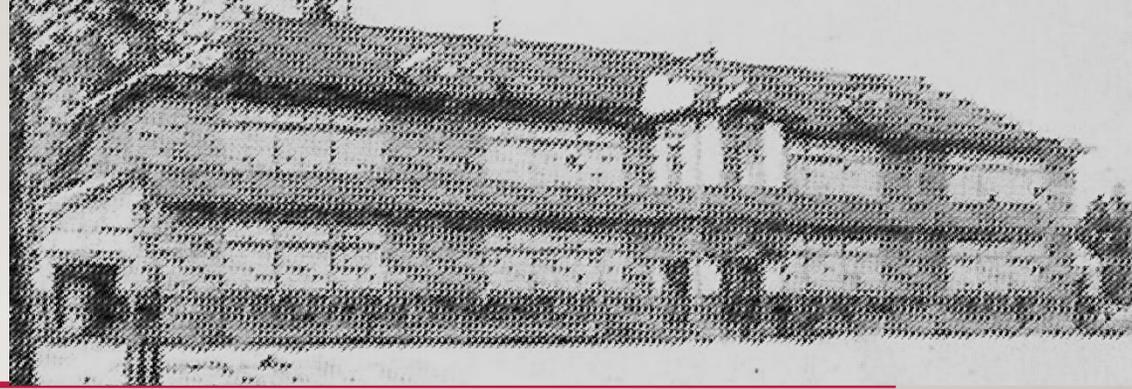
大正時代のころの様子



大正8年(1919年、創立45年目)に新しい校舎 **しかも2階建て!**
でも、新しい校舎ができるまでは **大変だった…**
大正7年8月、途中までできて **いた校舎が、強風で壊れた**



大正時代のころの様子

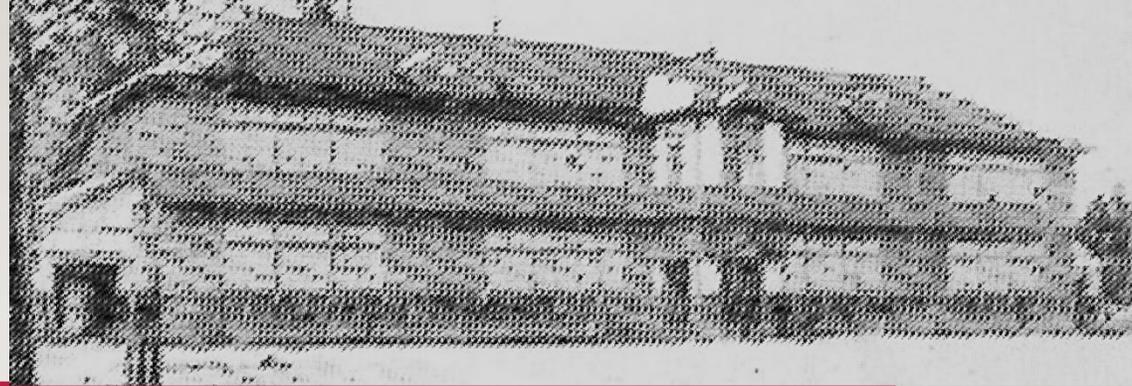


大正時代の子どもたちの学習の様子

修身、国語(読み方)
国語(書き方)、算術
地理、歴史、理科
図画、体操など



大正時代のころの様子



大正13年(1924年)にさらに大きな出来事が!

9月1日、郡山町と小原田村が合ぺいし「郡山市」誕生
全国99番目の市に! 今年は郡山市誕生100周年!

次の年、大正14年に「**郡山第四尋常小学校**」へ!

(創立51年目)



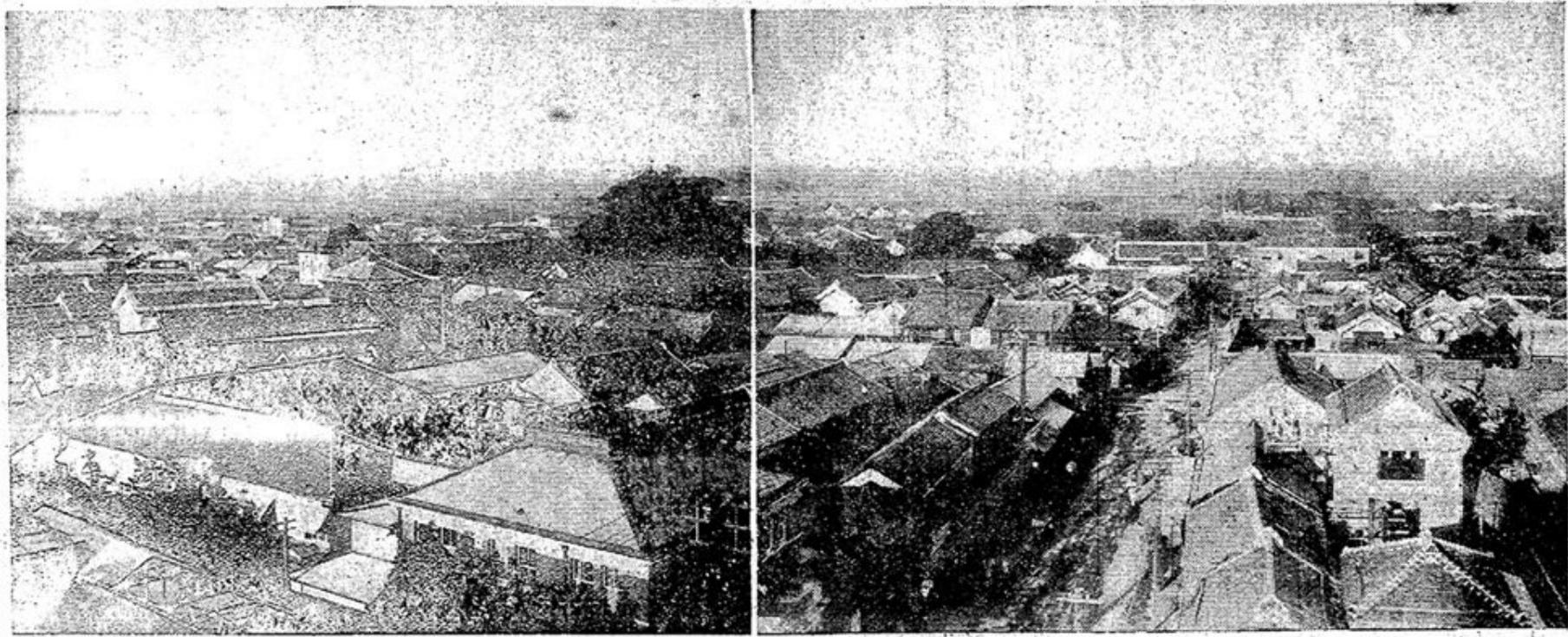
福島民報

頁六紙本

社名	福島民報社
社址	福島市本町一丁目
電話	一五七
代表者	安積長雄
編輯	安積長雄
印刷	福島民報印刷部
発行	毎朝(日曜休) 毎頁二文
定価	一月一元二角 三月三元五角 半年六元五角 一年十二元
代金	郵便振替口座 福島一六六〇
支店	東京 丸の内 丸の内 丸の内
支店	仙台 仙台 仙台 仙台
支店	盛岡 盛岡 盛岡 盛岡
支店	水戸 水戸 水戸 水戸
支店	宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮
支店	東京 丸の内 丸の内 丸の内
支店	仙台 仙台 仙台 仙台
支店	盛岡 盛岡 盛岡 盛岡
支店	水戸 水戸 水戸 水戸
支店	宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮

福島民報郡山支局
須賀兼嗣
西館 徹
森山 博

祝。郡山市制實施(其二) 新らしき誇に輝く市郡山



郡山市を祝福す
安積郡長 木村由太郎

我が郡山は、九月一日、何に誇りをもたせしめ、市民の心を一つに結ぶべき時である。郡山市制の實施は、郡山の歴史に新しいページを開き、市民の生活に大きな変革をもたらす。我々郡民は、この新しいスタートを機に、団結と努力を以て、郡山の発展と繁栄に力を尽くさなければならない。



木村由太郎 郡長

千内外人の増加は、郡山の発展に大きな影響を及ぼしている。我々は、この機会を捉え、国際的な交流を促進し、郡山の国際化を進めなければならない。同時に、地方公共団体の機能を強化し、市民の生活の質を向上させるべきである。

和衷協同の實果

郡山町長 大森吉彌

九月一日を以て郡山市制の實施日とする。この日は、郡山の歴史に重要な節目となる。我々郡民は、この日を機に、和衷協同の精神で、郡山の発展と繁栄に力を尽くさなければならない。

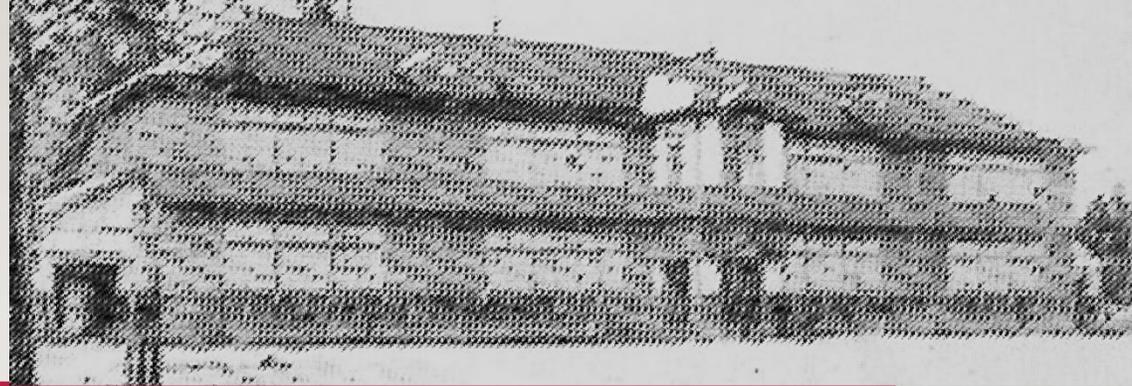


大森吉彌 郡長

郡山生活改善
實行會總會

郡山生活改善實行會は、市民の生活の質を向上させることを目的として、郡山市の発展と繁栄に力を尽くす。我々郡民は、この機会を捉え、郡山の発展と繁栄に力を尽くさなければならない。

昭和時代のころの様子



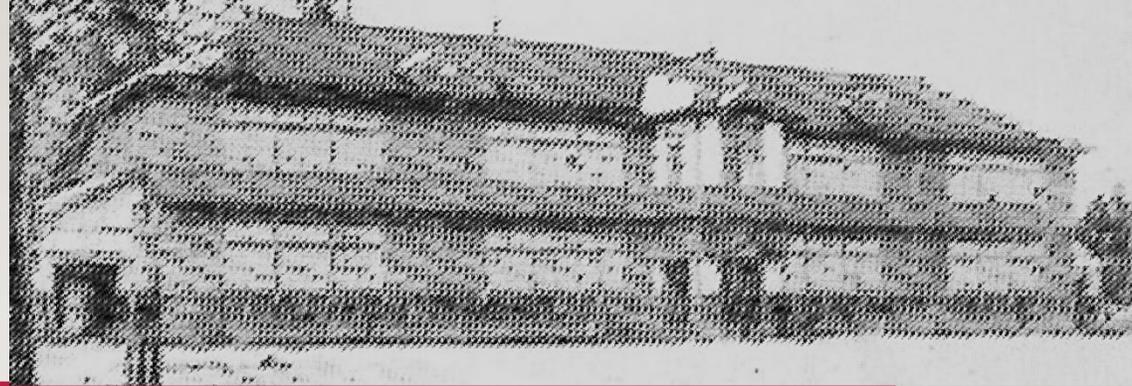
昭和時代(1926年～1989年)は激動の時代

昭和11年(1936年)に講堂兼雨天体操場(体育館)完成!

昭和16年(1941年)に小原田国民学校に名前が変わる

このころは、戦争で大きく学習内容が変わるのです…

昭和時代のころの様子



戦争のころ(「一つの花」のころ)の様子

遊びは「戦争ごっこ」、勉強は男組と女組に分かれる

学校で勉強する代わりに、工場で戦争の兵器づくり、農

家で田植えや稲刈りの農作業、校庭をつぶして作った畑

でサツマイモ・カボチャ・大豆づくり

昭和時代のころの様子

とうとう校庭に爆弾が落とされる…

昭和20年(1945年、創立71年目)

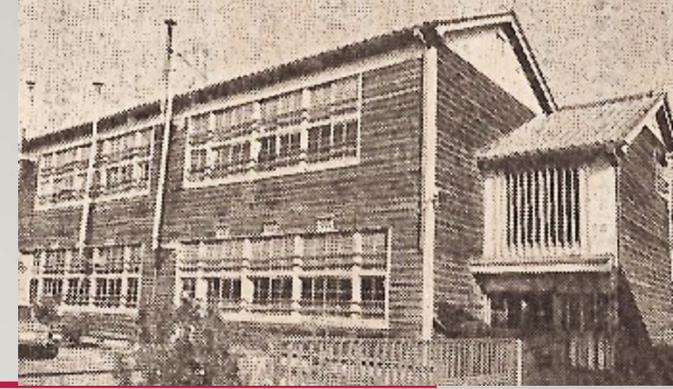
4月12日、校庭に12個の爆弾

校舎南側のガラス全部割れる

郡山空襲⇒



戦争が終わってからの様子



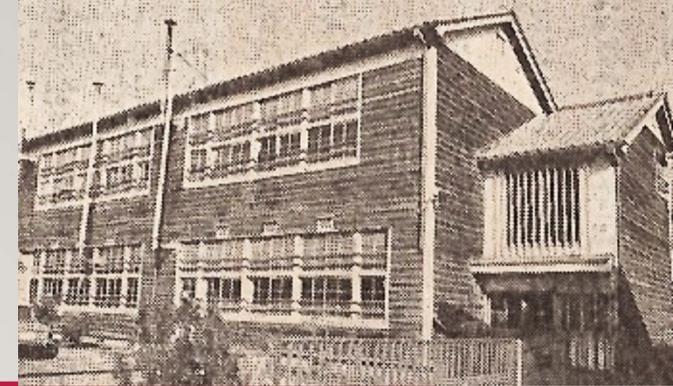
戦争が終わり、昭和22年(1947年＝創立73年目)に、

学校の名前は現在の**郡山市立小原田小学校**に

そして、昭和26年(1951年＝創立77年目)にできたのが

校歌！

人数の多い学校になった小原田小！



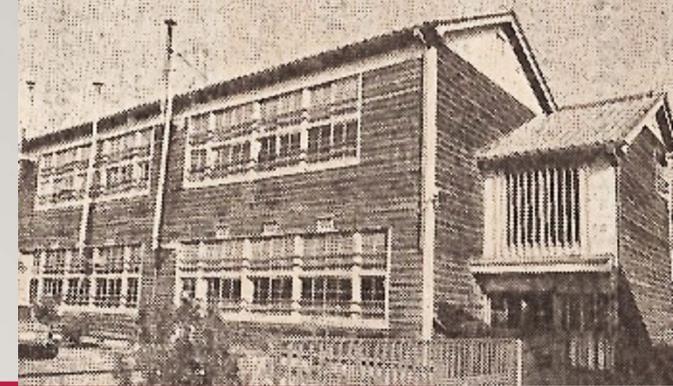
昭和22年(1947年)以降は、どんどん児童数が増えて

800名を超える児童数になりました！

そして、昭和27年(1952年＝創立78年目)には、

校庭を広く！図書館室もつくる！

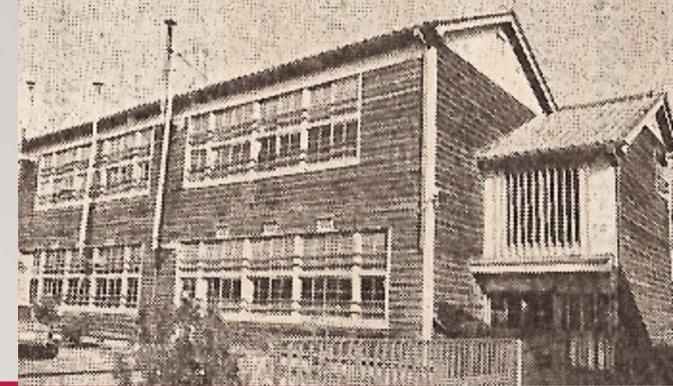
人数の多い学校になった小原田小！



小原田小は、児童数が1000名を超える大規模校に！

年度	児童数	年度	児童数	年度	児童数
昭和31年	1051名	昭和41年	1042名	昭和51年	984名
昭和32年	1146名	昭和42年	1042名	昭和52年	952名
昭和33年	1290名	昭和43年	1040名	昭和53年	931名
昭和34年	1384名	昭和44年	1105名	昭和54年	952名
昭和35年	1392名	昭和45年	1119名	昭和55年	906名
昭和36年	1363名	昭和46年	1054名	昭和56年	890名
昭和37年	1372名	昭和47年	1065名	昭和57年	871名
昭和38年	1107名	昭和48年	1096名	昭和58年	864名
昭和39年	1005名	昭和49年	1024名	昭和59年	828名
昭和40年	974名	昭和50年	1000名	昭和60年	820名

人数の多い学校になった小原田小！



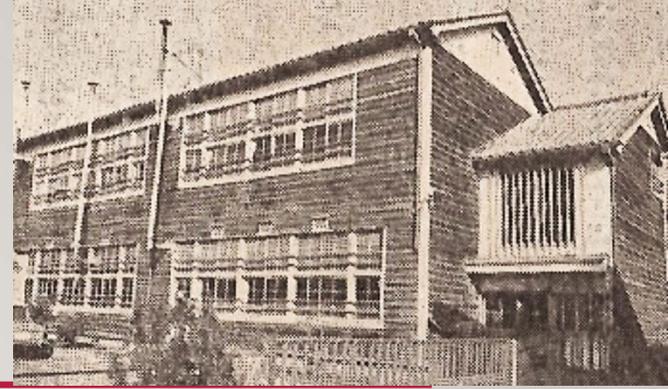
小原田小はとても人数の多い学校になったので、

昭和42年(1967年、創立93年目)に体育館！

昭和51年(1976年、創立102年目)にプール！

そして人数が多くて一番の問題は教室が狭い！

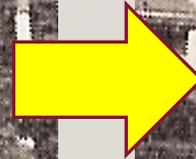
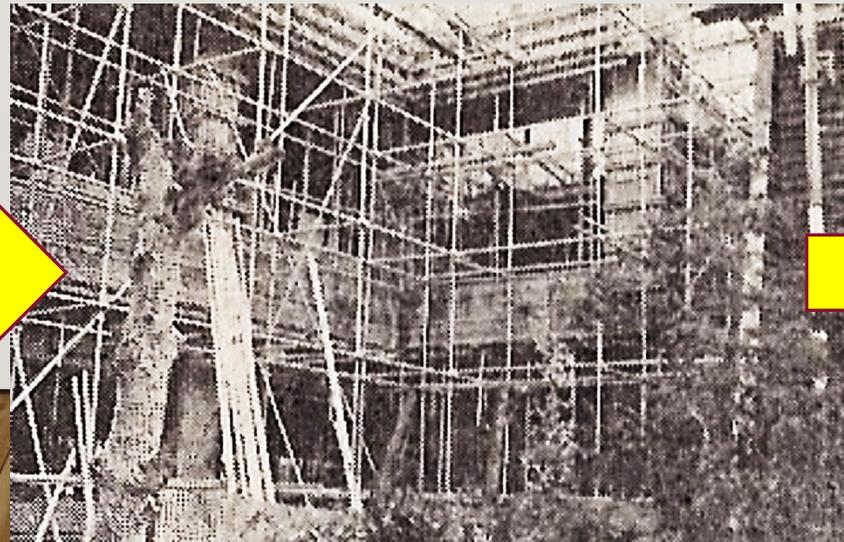
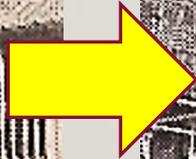
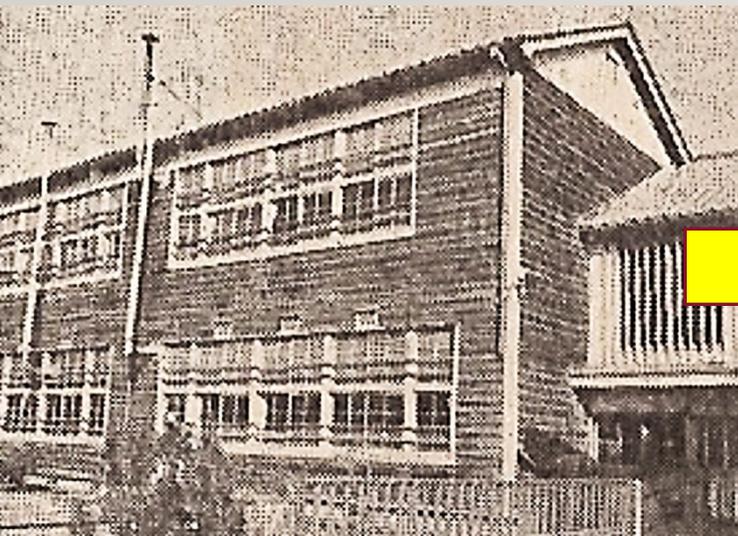
人数の多い学校になった小原田小！



小原田小は市内でも人数の多い学校で校舎が狭いから

昭和46年～昭和50年の5年間で校舎を新しく！

音楽室・PC室⇒わかたん教室⇒1～3年教室⇒4～6年教室⇒図書室・理科





小原田小学校は、安積郡小原田村公立小原田小学校

日出山小学校分教室

安積郡小原田尋常(じんじょう)小学校

郡山市郡山第四小学校

郡山市小原田国民(こくみん)学校と名前を変えながら

地域とともに、小原田っ子を応援してきた学校です！

小原田っ子へのメッセージ！



みんなのがんばいで、もっともっとすてきな小原田小へ！

みんなが協力し合い、相手を思いやる小原田小へ！

みんなで小原田小の新しい歴史をつくっていきましょう！

小原田小のみんなのがんばいを楽しみにしています！